
なんかもう

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なんかもう

【コード】

N0181P

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

もはやただの日記だよ。

人の優しさに甘えてばかりだ。
情けないなあ。

駄目だなあ。
ありがたいなあ。

恩返ししたくて、また君に向かって手を伸ばすんだけど、恩はなぜか減らずに増える一方なんだ。

ちきしょう、くやしいなあ。
でも、うれしいなあ。

一日中歩き回って、死ぬほど疲れてて、足はもう棒のようで、目を開けてるのもしんどいのに、電気を消して、ベッドに入って、眠ろうとすると胸が空いて、酷くざわついて、息が苦しくて眠れない。

失恋した時みたいなの、何か大きな罪を犯した時みたいなの、そんな気分になってしまって、眠れない。

君が声を聞かせてくれるなんて言うから、つい僕は脊髄反射で拒否しちゃったじゃないか。
駄目だよそういうのは。
ほんとに駄目なんだ。

君が示してくれたのは、紛れもなく、疑いようもなく優しさで、なのに、僕はそれを受け取ることも出来ない臆病者だから、そういう優しさは駄目なんだ。

こんな自分に心底うんざりする。

うんざりしすぎて、結局眠れなくて、眠れないまま今日もまた新聞配達に行くんだ。

最悪だよ。

最悪なのに、悪くない気分になってしまっただから、ほんと困っちゃうよ。

きつと弾むようなステップで新聞ねじ込みに行くんだよ、今日も。優しさって偉大だよ。

3

幸せになりたい願望は、相変わらず貧相なもんだよ。

恋なんて死ぬまで一度も成就しなかったっていいって思ってるし、お金だって47円の豆腐さえ1日3食食べればそれで十分満足だし、化粧品だって欲しいとは思うけど、無ければないでいいやくらいに思ってるし、服だってゲームだってもう7年くらい買ってないし、自分の人生を今よりマシにしたいなんていう意欲はほとんど沸いてこないよ。

最低限だけあれば僕は満足しちゃうし、今だってもう最低限は揃ってるんだ。

今以上を強くは望まないから、今までのルーチンからいつまで経っても抜け出せない。

でも、君の優しさに報いたい気持ちは日毎増大傾向にある。

僕が幸せになったら、君は普通に喜んでくれるんだろうなあって思うから、やっぱり幸せにならなきゃいかんよなあって、ようやく最近そう考えるようになったよ。

僕はまた逃げたり頼ったり、君に迷惑をかけると思う。

気まぐれに手を貸してくれる君の存在が、僕にとってどれだけ有難いものなのか、僕がそれを伝えたいと思っても、君はやっぱりはぐらかして逃げちゃうんだろう。

僕なんかが願わなくなつて、君みたいな人間は自力で幸せを掴み取るだろう。

だから、かなり余計なアレだとは思っただけど、それでもやっぱり祈ってるよ。

君が幸せになってくれる事を。

ありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0181p/>

なんかもう

2010年11月20日06時07分発行